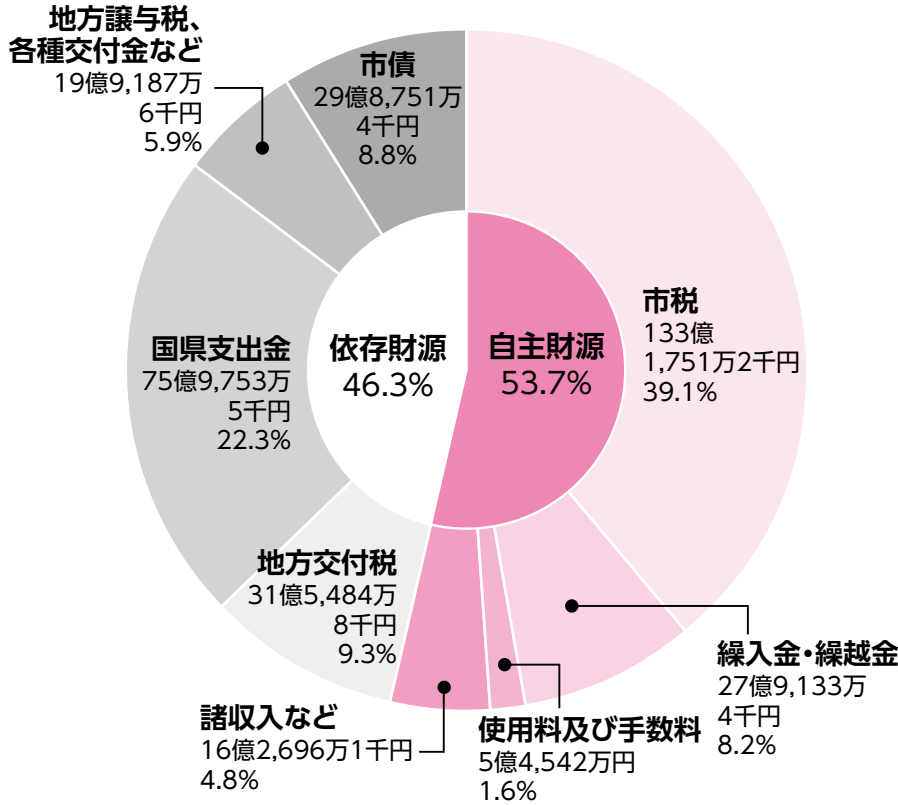




予算



歳入の主な増減内容

○市税

土地評価額の上昇などによる固定資産税の増額や、登録台数の増加による軽自動車税の増額などにより、全体で約1,400万円の増額。

○国県支出金

障害児給付費等負担金や生活保護費負担金、保育所運営負担金の増額などにより、全体で約3億5,600万円の増額。

○繰入金・繰越金

筑紫野市庁舎建設事業の財源として、庁舎建設基金や財政調整基金、公共施設等整備基金からの繰入金の増額などにより、全体で約22億7,600万円の増額。

○市債

市庁舎建設事業債や消防防災施設整備事業債の増額などにより、全体で約2億9,000万円の増額。

平成30年度の予算は、市民の安全安心、幸せな暮らしづくりのため、第二次財政計画を規律として、第五次総合計画を推進する内容としています。市庁舎建設や筑紫駅西口土地区画整理事業などの大型事業に引き続き取り組みますが、このことが市民サービスの低下を招かぬよう、さらなる経常経費の見直しを図り、予算編成を行いました。この取り組みの結果、対前年度比9%増の340億1千3百万円を予算計上しました。

● 問い合わせ先 財政課

知っておきたい!

財政用語

歳入

■自主財源 市が自主的に調達できるお金

○市税 市民税や固定資産税など

○繰入金・繰越金

基金からの繰入金や前年度からの繰越金など

○使用料及び手数料

市営住宅の家賃や公共施設の使用料など

○諸収入など

発掘調査受託事業収入や各種教室の受講料など

■依存財源 国や県からの交付金や銀行からの借入金

○地方交付税

全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金

○国県支出金

特定の事業のために国や県が交付するお金

○地方譲与税、各種交付金など

国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金

○市債

大きな事業を行うための銀行などからの借入金

歳出

○民生費

子どもや高齢者、障がい者などの福祉の費用

○総務費

行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用

○衛生費

健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用

○公債費

市の借金の返済などの費用

○教育費

教育や文化、スポーツなどの費用

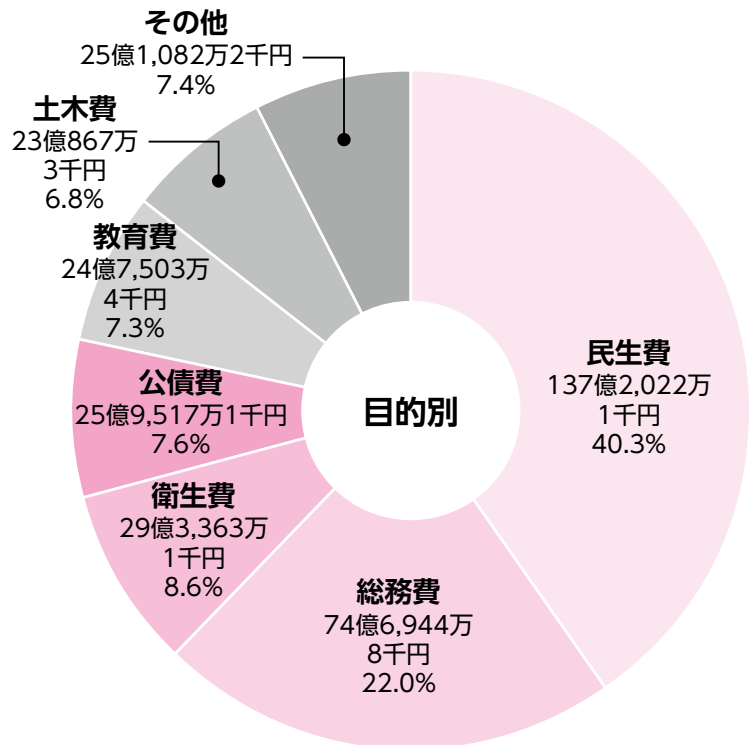
○土木費 道路や公園などの補修や建設などの費用

○その他 議会や農・商工業、消防などの費用

一般会計

歳出

340億1,300万円の内訳



歳出の主な増減内容

○民生費

児童福祉サービスの利用者増による介護給付等事業の増額、保育所の定員増および保育士の処遇改善による子どものための教育・保育給付事業（保育）の増額などにより、全体で約4億5,700万円の増額。

○総務費

筑紫野市庁舎建設事業やコミュニティバス運行事業の増額などにより、全体で約32億900万円の増額。

○教育費

新規事業として筑紫野中学校体育館床改修事業や農業者トレーニングセンター非構造部材耐震化事業で増額となるものの、事業終了に伴う小学校プール改修事業の減額などにより、全体で約1億800万円の減額。

○土木費

事業進捗に伴う筑紫駅西口土地区画整理事業の減額などにより、全体で約6億7,700万円の減額。

市のお金の使い道

市のお金の使い道を見ると、最も多いのは扶助費です。
市が、子どもや高齢者、障がい者などの福祉の充実に
一番多くのお金を使おうとしていることが分かります。

扶助費

93億6,282万5千円

子どものための手当や保育所の運営、高齢者・障がい者への給付、生活保護費などに

人件費

43億2,304万4千円

職員の給料や議員等の報酬などに

補助費等

38億9,872万7千円

各種団体などへの補助金や負担金などに

物件費

43億3,229万円

光熱水費や施設の維持管理費などに

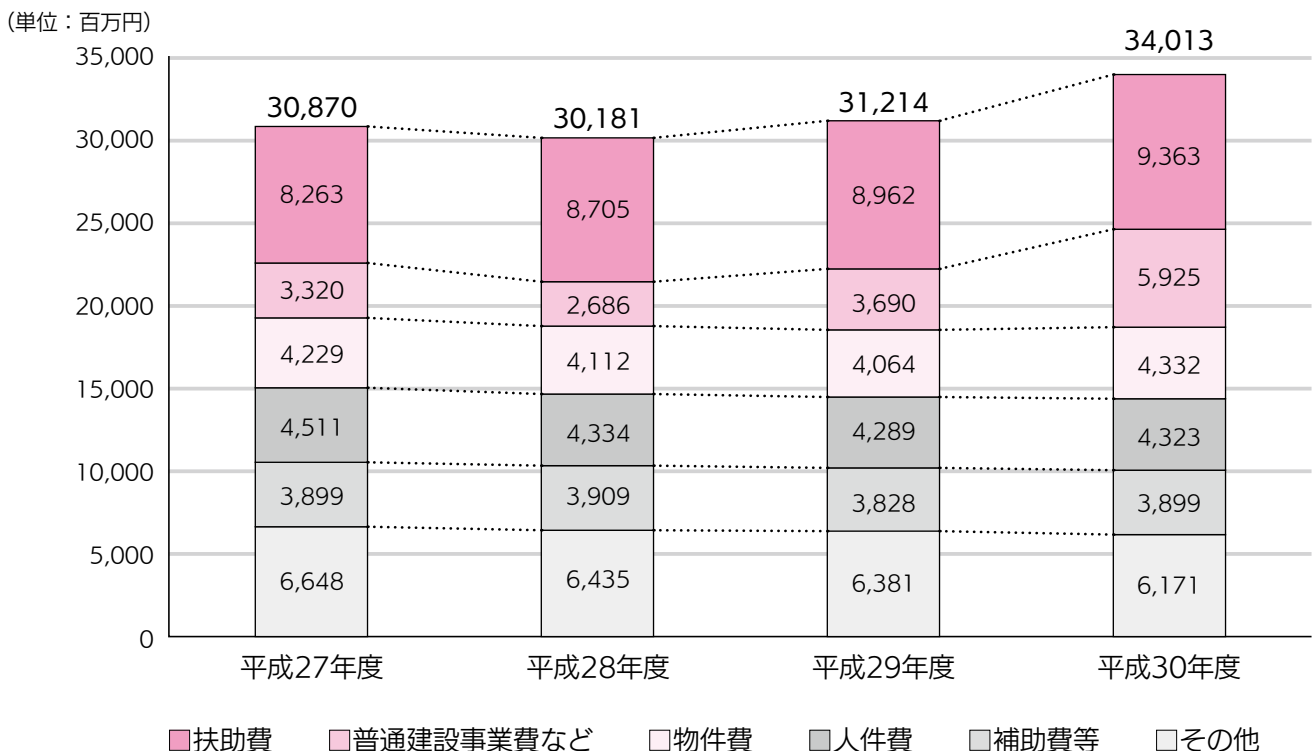
普通建設事業費など

59億2,460万6千円

道路や施設の建設費などに

一般会計当初予算規模の推移

平成27年度からの筑紫野市の一般会計当初予算規模を、グラフにしました。
扶助費や普通建設事業費などが、増加していることが分かります。



特別会計

国民健康保険などの事業は、保険料などの特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

公営企業会計予算 (単位：千円、消費税等込)

区分	水道事業		下水道事業	
	収入	支出	収入	支出
収益的収支	2,090,489	1,940,647	2,300,335	2,132,449
資本的収支	203,730	745,368	759,531	1,422,000
合計	2,294,219	2,686,015	3,059,866	3,554,449

特別会計予算 (単位：千円)

会計名	予算額
国民健康保険事業	9,759,165
住宅新築資金等貸付事業	4,798
奨学資金貸与事業	8,239
介護保険事業	6,304,415
後期高齢者医療事業	2,267,461
農業集落排水事業	229,271
二日市財産区	2,911
御笠財産区	23,296
平等寺山財産区	26,892
合計	18,626,448

平成29年度下半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。今回は、平成29年度下半期(平成30年3月31日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。なお、5月31日まで出納整理期間が設けられているため、最終的な決算額とは異なります。

会計名	予算現額A	収入済額B	収入率 B/A×100	支出済額C	執行率 C/A×100
一般会計	336億5,274万9千円	308億3,703万5千円	91.6%	266億7,754万5千円	79.3%
国民健康保険事業	111億4,797万9千円	95億1,208万1千円	85.3%	102億3,755万2千円	91.8%
住宅新築資金等貸付事業	1,373万9千円	1,488万5千円	108.3%	194万4千円	14.1%
奨学資金貸与事業	893万4千円	335万1千円	37.5%	717万9千円	80.4%
介護保険事業	64億2,218万9千円	51億460万2千円	79.5%	57億453万円	88.8%
後期高齢者医療事業	22億5,491万9千円	21億440万1千円	93.3%	21億4,073万8千円	94.9%
農業集落排水事業	2億2,932万4千円	3,539万7千円	15.4%	1億9,157万6千円	83.5%
筑紫地区障害支援区分等審査会事業	1,295万7千円	1,295万7千円	100.0%	811万5千円	62.6%
二日市財産区	319万5千円	308万1千円	96.4%	139万3千円	43.6%
御笠財産区	819万7千円	491万1千円	59.9%	42万円	5.1%
平等寺山財産区	2,567万1千円	833万3千円	32.5%	566万円	22.0%
合計	537億7,985万3千円	476億4,103万4千円	88.6%	449億7,665万2千円	83.6%

- 市民の税負担状況(平成30年3月31日現在の人口 103,620人)
- 市民一人あたりの市税負担額 127,721円(市税収入済額132億3,442万5千円に対する額)
- 財産の現在高
 - 基金 117億870万3千円(平成29年度末見込)
 - 土地、建物については、平成29年度決算確定後に公表します。
- 市債および一時借入金の現在高
 - 一般会計 270億3,484万7千円(平成29年度末見込)
 - 特別会計 11億9,621万8千円(平成29年度末見込)
 - 一時借入金(全会計) 0円(平成30年3月31日現在)
- 詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

平成30年度に実施する

主な事業

平成30年度施政方針に基づき、今年度も多くの事業を実施します。

重点を置く5つの政策と、主な事業の概要をお知らせします。(下線は新規事業)

●問い合わせ先 企画政策課

1 政策 ぎょうざいせいかいかく 行財政改革

■ 筑紫野市庁舎建設事業

44億9,909万6千円

本市の行政サービスの拠点、防災の拠点として、本年11月の竣工に向けて建設工事を行います。

■ 公共建築物個別施設計画策定事業

1,360万8千円

筑紫野市公共施設等総合管理計画に基づき、市が保有する建築物の長寿命化などを図るための個別施設計画の策定を行います。



市庁舎建設では、各階の床のコンクリート打設が完了し、配管などの内部工事に着手しています

2 政策 さんぎょうこよう 産業・雇用をつくる



市内のビニールハウスではアスパラガスなどの野菜が生産されています

■ まち農スタート事業

664万円

新規就農者の増加を図るため、農業体験や遊休農地の活用の支援などを行います。

■ 園芸農業等総合対策事業

6,235万円

園芸農業の生産施設(ビニールハウス)などの整備を支援します。

■ 緊急経済対策事業住宅改修工事補助事業

992万円

地域経済の活性化および市民生活の安定を図るため、市内の施工業者によって住宅の改修工事を行う場合に経費の一部を補助します。

3 政策 せいかつ 生活をまもる

■ 保健事業(健康診査) 7,097万4千円

各種健康診査事業の実施に加え、胃がんの早期発見のため、新たに胃内視鏡検査を実施します。

■ 介護給付等事業 16億4,255万5千円

障がい者および障がい児に必要な障がい福祉サービスにかかる給付事業を行います。

4 政策 共助社会づくり



二日市コミュニティ運営協議会主催で行われた「HUG(避難所運営ゲーム)」

■コミュニティ運営協議会補助事業
3,962万2千円

コミュニティ運営協議会の運営および活動に補助を行います。

■まちづくり支援事業
1,051万1千円

コミュニティ運営協議会の活動支援にかかる事業を行います。

5 政策 未来をつくる

■コミュニティバス運行事業
6,287万4千円

地域公共交通網形成計画に基づき、市民のニーズが高い公共施設、医療機関、商業施設との間を結ぶコミュニティバスの運行の検討を行います。

■筑紫駅西口土地区画整理事業
4億482万5千円

筑紫駅西口周辺において暮らしやすい市街地を形成することを目的とした土地区画整理事業を行います。



筑紫駅西口周辺で宅地・道路をつくっています

■国指定史跡宝満山保存活用計画策定事業
359万3千円

国指定史跡である宝満山を適切に保護・活用するために保存活用計画を策定します。



御笠地区からの宝満山の眺望

■病児保育事業
1,286万円

病気のため、集団生活や家庭での保育が困難な児童を病院の併設施設で預かる事業を新たに行います。(病後児保育事業からの拡充)

■生徒指導総合推進事業
2,015万円3千円

いじめ・不登校対策のため相談員の配置を拡充するなどの支援を行います。

■農業者トレーニングセンター非構造部材耐震化事業
1,858万4千円

筑紫野市農業者トレーニングセンターの非構造部材(照明器具、バスケットボールゴールなど)の耐震工事を実施し、災害発生時の避難所としての施設の安全性を確保します。